

第28回全大教東北地区協議会職種別懇談会参加報告

11/19~20

東北大学の無期転換問題は非常に注目されている！

(多元研支部) 後藤洋子さん

11月19日(土)～20日(日)にかけて秋田県仙北市のあきた芸術村で開催された全大教東北地区協議会職種別懇談会に病院支部の川佳子さん、同じく執行委員でもある北村裕子さんと三名で参加いたしました。

出席者は主催の秋田大を中心に岩手大、山形大、福島大、そして我々東北大からの計19名で、まず全体会として全大教書記長の長山泰秀氏の「国立大学をめぐるとの状況」についての講演を拝聴し、引き続き3つの分科会に別れ、私は事務職員・技術職員・非常勤職員の分科会

に参加し、それぞれの大学での問題点について情報を交換いたしました。やはり今回の東北大学の無期転換問題(雇い止め)が他大学から非常に注目されており、こちらからは現状の報告とHDLance.comで情報を発信しているのぜひ応援をいただきたいとアピール



全大教東北地区の仲間達

被災地視察バスツアー2016in気仙沼に参加して
気仙沼の被害の甚大さを知る

(病院支部) 金野嘉子さん

被災地支援を目的とした宮城県労連女性部主催のツアーで、震災後6年目の気仙沼を訪ねました。我が家としては大いに財布の紐を緩め、復興商店街でフカヒレラーメンの昼食をとり、お土産は塩辛や牡蠣のアヒージョを購入しました。ウニ塩ソフトは時間切れで次回となりました。以前は見上げる高さの三陸町防災対策庁舎は、盛土に囲まれてまるで谷底に沈んだような佇まいで、今後40年間は宮城県の管理下で存廃論が検討されることになったのを思い出しました。気仙沼で生まれ育った方でも「何度来ても今、自分がどこを走っているのかわからなくなる」と言っていたので、外海に接している気仙沼の被害の甚大さを知りました。また大谷海岸では、道路をかさ上げして作ることで防潮堤の役割も果たすことになったと聞き、行政の現場に即した柔軟な対応が大切と感じることができたツアーになりました。

11月6日 被災地視察ツアー参加の仲間達



してまいりました。どの大学も人件費削減、労働条件改善、研究費や運営交付金の削減など厳しい問題は山積みではありますが、ここにこうして集える

ことで大学本来の役割について組合としてどう向き合っていくかを考える機会としては有意義な参加でした。また、夜の部ではわらび座のアトラクションと難しかった秋田県クイズもあり、会を盛り上げてくださった秋田大学のみなさまに感謝です。



ギター伴奏のもと、懐メロを口ずさみ、手作りケーキや料理を食べながら67歳の誕生を祝いました。



祝 67歳の手作りケーキ